

森林環境譲与税の使途

(歳入)

森林環境譲与税

12,398 千円

(歳出)

木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要する経費（森林環境譲与税充当分）

12,398 千円

【森林環境譲与税の使途】

(単位：千円)

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち 森林環境譲与税
			国県 支出金	市債	その他		
森林整備	屋敷林等保全事業	904	0	0	0	904	904
木材利用の促進	駅前広場維持管理事業	814	0	0	0	814	814
	公園整備事業	6,294	0	0	0	6,294	5,957
	うち令和4年度から令和5 年度への繰越額（※）	4,000	0	0	0	4,000	3,663
	小学校管理運営事業	1,501	0	0	0	1,501	1,501
	中学校管理運営事業	3,222	0	0	0	3,222	3,222
合 計		12,735	0	0	0	12,735	12,398

※ 騎西総合公園及びあじさいロードの木柵ロープの改修工事は、材料の入手が困難であったため一部経費を令和5年度へ繰越した。

- 加須市では、森林整備等への理解促進につながる取組として、木材利用や普及啓発等を促進することを基本とし、これまで経費がかさむことで予算化が困難だった公園の木道やウッドデッキ、市有施設の木造化・木質化等の経費に森林環境譲与税を活用することとしている。
- 令和4年度においては、東武伊勢崎線花崎駅北口の駅前広場の老朽化した木製ベンチの修繕を実施

事業内容

公共施設等への木材利用（公園整備事業）

- ・ 老朽化した木製ベンチ（座版）の修繕を実施した。

【事業費】 814千円（うち譲与税814千円）

【実績】 修繕したベンチの数 10基

木材使用量 0.58704825㎡

取組の背景

- ・ 東武伊勢崎線花崎駅北口の駅前広場に設置している木製ベンチが老朽化により腐食し、座版が落下する危険性があった。

工夫・留意した点

- ・ 県産材を使用した。

取組の効果

- ・ 県産材の利用・普及啓発を促進した。
- ・ 駅前広場利用者の安全性・利便性の向上を図った。



（修繕前）

（修繕後）

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：12,398千円	②私有林人工林面積（※1）： -	
③林野率（※1）：0.1%	④人口（※2）：111,623人	⑤林業就業者数（※2）：5人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より